

# 天明校区施設一体型義務教育学校 施設整備事業

---

令和5年(2023年)1月24日(火)・25日(水)

熊本市教育委員会事務局  
教育総務部 学校改革推進課



## 施設一体型義務教育学校とは

小学校と中学校の施設が一体化した学校において、  
小学校課程から中学校課程まで、義務教育(9年間)を一貫して  
行う学校。

教職員組織は1つとなり、1人の校長が学校経営を行う。

### (1)探究型の学びを充実し、学習意欲 及び 学力向上につなげる

→ 教育課程編成の自由度が高く、先進的で特色あるカリキュラムの編成が可能

### (2)組織的な児童生徒指導の充実と、9年間の切れ目のない学びの提供

→ 小中学校が一体化した教職員組織であるため、児童生徒に関する情報を常  
日頃から共有することが可能

### (3)児童生徒の自己肯定感や自己有用感が高まり、将来の目標や 夢の実現に向かって自信をもって取り組むことができる

→ 児童生徒が1つの学校で一緒に教育を受けることで、日常的な「異学年交流」が可能

## (1)小中一貫教育に適した教育環境の整備

- ・9年間の一貫した指導
- ・小学校高学年の教科担任制
- ・異学年の交流活動

等の多様な教育実践



## (2)社会状況の変化に対応する教育環境の整備

- ・教育の質の向上に繋げるICTの活用
- ・令和の日本型教育の具現化
- ・インクルーシブ教育システムの構築
- ・教職員の働く場としての機能向上 等



## (3)特色あるカリキュラム、教育課程の編成

- ・主体的に考え行動する力を育む教育の推進
- ・最適な教育環境の整備
- ・先進的特色あるカリキュラムの編成
- ・主体的な学びを支援する場 等

| 先進的・特色あるカリキュラム<br>《イメージ》 |    |    |    |         |    |      |          |    |
|--------------------------|----|----|----|---------|----|------|----------|----|
| 前期課程                     |    |    |    |         |    | 後期課程 |          |    |
| 1年                       | 2年 | 3年 | 4年 | 5年      | 6年 | 7年   | 8年       | 9年 |
| 学級担任制                    |    |    | /  | 一部教科担任制 |    | /    | 教科担任制    |    |
| 学びの基礎・基本                 |    |    |    | 学びの充実   |    |      | 学びの向上・発展 |    |

ふるさと学習  
生活・国語・体育・図工・理科・社会等の一部と総合的な学習の時間の一部

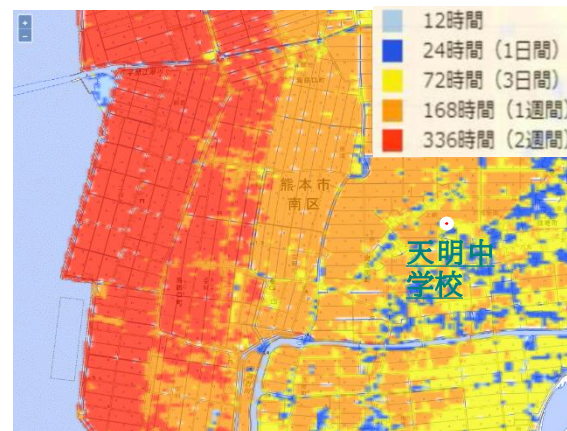
|           |            |            |
|-----------|------------|------------|
| 体験的・発見的活動 | 主体的活用、表現活動 | 主体的探究と情報発信 |
|-----------|------------|------------|

「主体的・対話的で深い学び」を意図した各教科の授業実践により、新しい時代に必要な資質・能力を育む。ふるさと学習を中心にした教科横断的な視点からのカリキュラムを編成する。現在行っている環境教育を更に推進するとともに、ふるさとをよさを発信していく地域の特色を明確にした取組を行う。このことにより、地域の活性化を担う人材を育成したり、校区の魅力化を図ったりすることができ

## (4)避難所機能を有した施設整備

- ・天明校区における各種災害想定規模の検討
  - ・危機管理防災総室と南区役所、教育委員会、大学有識者、地域住民との連携
- 等

【熊本市ハザードマップ(令和4年(2022年)4月時点「高潮浸水継続時間想定72時間(3日間)」)】



## (5)通学支援

- ・スクールバス:小型又は中型バスの複数台の運行を想定
- ・スクールバスの乗降場所は、旧給食調理場跡地の活用を基本とする。

【天明校区施設一体型義務教育学校基本計画32頁「図3.2 4階建て校舎を想定した配置計画(案)」】



## (6)閉校後の校舎の利活用とまちづくり

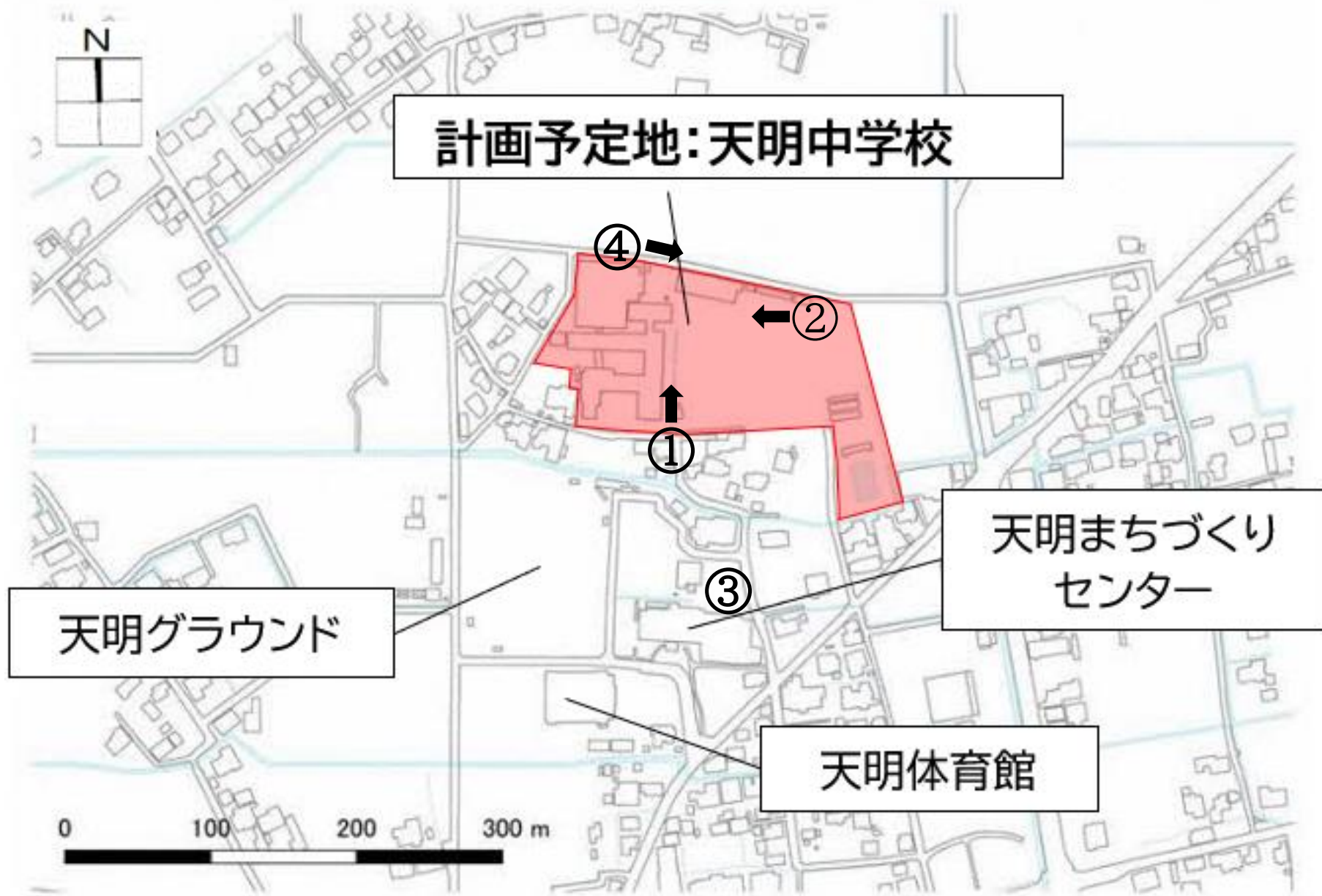
- ・義務教育学校開校後、天明校区の既存4小学校は閉校となるが、地域にとっては貴重な財産
- ・地域の声を踏まえ、将来的なまちづくりに寄与する利活用方法を検討



熊本市でのマーケットサウンディングの様子

| 項 目                                      |   |     | 内 容                                                                                                |
|------------------------------------------|---|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所                                        | 在 | 地   | 熊本市南区奥古閑町2146番地1                                                                                   |
| 敷                                        | 地 | 面 積 | 22,867㎡                                                                                            |
| インフラ整備状況                                 |   |     | 給水：東型,南側φ100mm敷設 汚染排水・都市ガス：なし<br>電力・通信：敷地周囲より共有可能                                                  |
| 都市計画区域                                   |   |     | 市街化調整区域                                                                                            |
| 建                                        | ぺ | い 率 | 40%                                                                                                |
| 容                                        | 積 | 率   | 80%                                                                                                |
| 絶                                        | 対 | 高 さ | 10m                                                                                                |
| 外                                        | 壁 | 後 退 | 1m                                                                                                 |
| 道                                        | 路 | 斜 線 | 有り(勾配1.5)                                                                                          |
| 隣                                        | 地 | 斜 線 | 有り(立ち上がり31m,勾配2.5)                                                                                 |
| 緑化目標値                                    |   |     | 敷地面積の20%                                                                                           |
| 防火地域・日影規制・高度地区・<br>地区計画・建築協定<br>埋蔵文化財包蔵地 |   |     | 指定なし                                                                                               |
| 接 道 条 件                                  |   |     | 北側 奥古閑町第5号線(最小幅員3.3m／最大幅員6.1m)<br>西側 奥古閑町第6号線(最小幅員3.8m／最大幅員6.8m)<br>南側 奥古閑町第7号線(最小幅員2.9m／最大幅員7.8m) |







① 天明中学校



② グラウンド南側から見た校舎



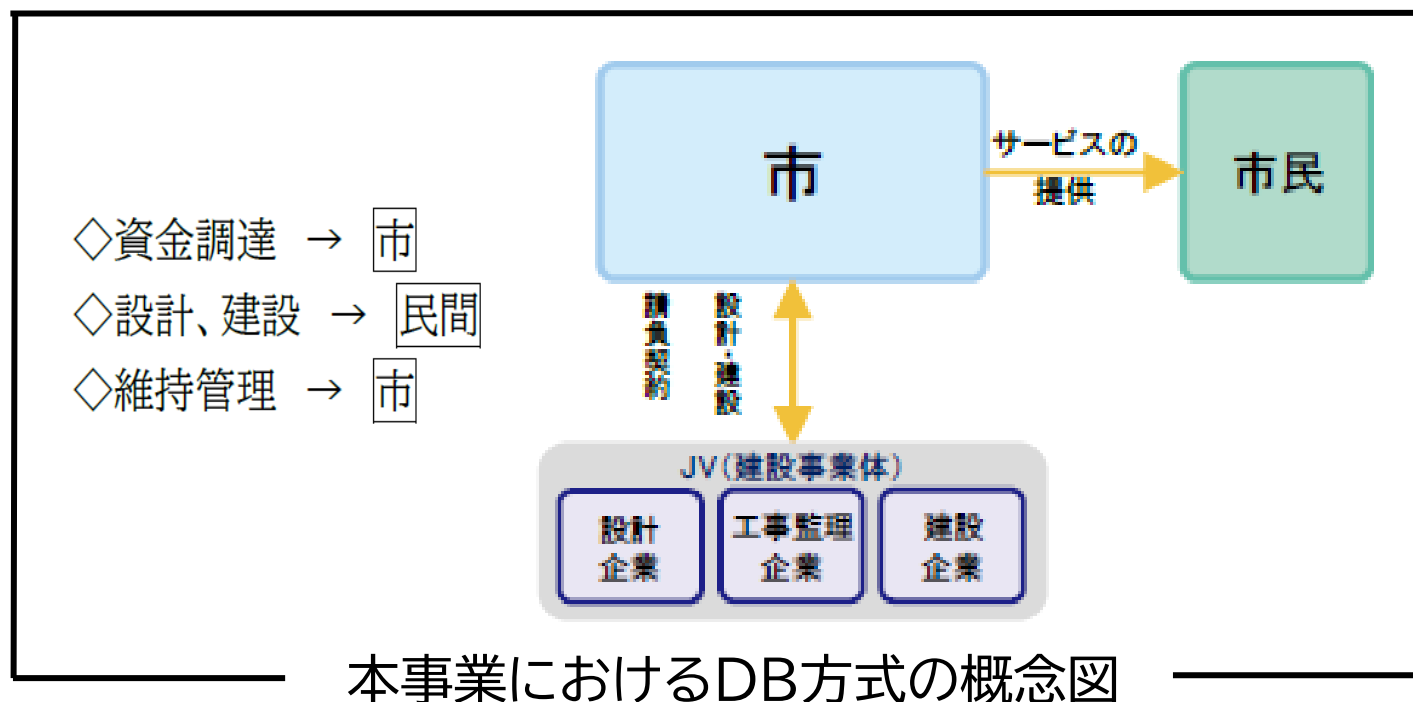
③ 給食調理場跡地



④ 敷地北側道路及び側溝

## 事業手法：PPP方式(デザインビルド(DB)方式)

- 公立学校施設として事業の安定性を確保しつつ、民間事業者の創意工夫及び技術的・経営的能力等を活用
- 質の高い教育の場の提供
- 効率的な業務遂行による市の財政負担の軽減
- 工期の短縮の可能性





## DB方式及びPFI方式の場合の想定事業費(税込)

|                  | 従来方式    | PFI:起債あり | PFI:起債なし | DB      |
|------------------|---------|----------|----------|---------|
| 校舎建設費(仮設なし)      | 55.0 億円 | 50.9 億円  | 50.9 億円  | 50.9 億円 |
| 設計監理費            | 3.8 億円  | 3.5 億円   | 3.5 億円   | 3.5 億円  |
| 外構・解体工事費         | 6.6 億円  | 6.1 億円   | 6.1 億円   | 6.1 億円  |
| 管理運営費            | 3.0 億円  | 4.5 億円   | 4.8 億円   | 3.0 億円  |
| その他(コンサル費等)      | 0       | 1.2 億円   | 1.2 億円   | 0.9 億円  |
| その他(SPC※設立費等)    | —       | 0.5 億円   | 1.8 億円   | —       |
| 資金調達コスト          | 2.3 億円  | 3.1 億円   | 4.7 億円   | 2.1 億円  |
| 市民税(SPC 法人市民税より) | 0       | ▲0.03 億円 | ▲0.03 億円 | 0       |
| 公共負担額            | 70.7 億円 | 69.8 億円  | 73.0 億円  | 66.5 億円 |

## (1)敷地内の配置・動線計画

- ・ 日当たりがよく、可能な限り整形で、広いグラウンド環境を確保
- ・ 歩車分離や安全な歩行空間の整備等を検討し、通学の安全性に配慮
- ・ スクールバスや給食配送車両の動線を考慮した配置計画
- ・ セキュリティや安全面に配慮した、配置・動線を検討

## (2)諸室計画

- ・ 前期・後期課程の児童生徒が共用する場所は、体格差に配慮した配置・設備を検討
- ・ 特に運動施設については、体格差による事故等を防ぐため、前期・後期課程それぞれにグラウンドと体育館を整備
- ・ 普通教室の配置は、採光に配慮した計画
- ・ 管理諸室から正門や昇降口、校庭等を見守ることができ、見通しのよい配置計画
- ・ 高潮等の浸水対策として、2階以上に避難スペースを確保



## 避難所機能の確保

- ・ 水、食料、電力、避難経路の確保
- ・ バリアフリートレイ、スロープ等の設置



## 日影による周辺農地への影響

- ・ 設計段階での日影の影響範囲の検証
- ・ 日影の影響を抑えた施設配置



## 地域開放

- ・ 地域連携室の設置と特別教室の開放
- ・ 開放時の防犯やセキュリティの配慮



## 学校体育館の騒音・振動

- ・ 騒音・振動の影響範囲の検証
- ・ 必要に応じた措置の検証



## 登下校時の安全性の確保

- ・ 自動車、自転車や歩行者の通行に配慮した計画
- ・ スクールバスの乗降場所は旧給食調理場跡地の活用を基本として検討



## 熊本市内全域からの受け入れ

- ・ 義務教育学校で学びたい児童生徒の市内全域からの受け入れを検討
- ・ 通学方法の検討



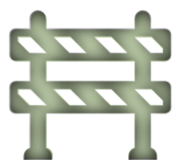
## 環境への配慮

- ・ 再生可能エネルギーの導入
- ・ ZEB Oriented以上の認証取得を検討



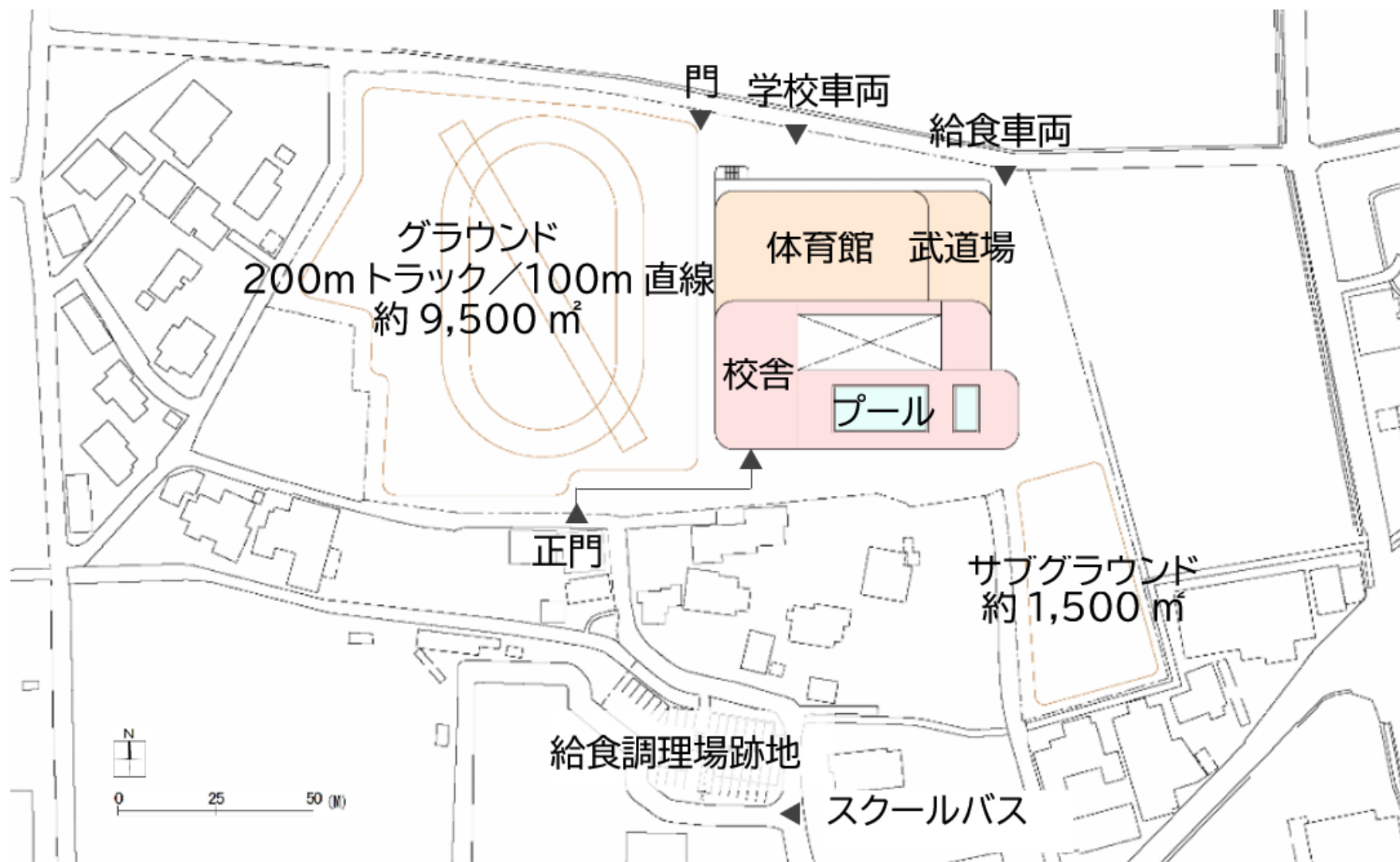
## ともに創りあげる学校

- ・ 子どもや地域とともに学校を創りあげられる施設計画等



## 工事期間中の生徒への配慮及び教育活動の工夫

- ・ 建て替え期間中の十分な安全の確保



避難所機能を有する施設として整備するにあたり災害時の避難安全性をより高めるため、**4階建て校舎**の配置を検討



| エリア             | 室名                                                       | 面積 (㎡)   |
|-----------------|----------------------------------------------------------|----------|
| 義務教育学校の特徴となる諸室等 | 少人数教室、児童育成クラブ(多目的室)、交流スペース、総合図書館、地域連携室、更衣室、防災備蓄倉庫、多目的ホール | 1620.9   |
| 普通教室            | 通常学級、特別支援学級、通級指導教室                                       | 1620.0   |
| 特別教室            | 理科室、図工・美術室、技術室、家庭科室、音楽室、各準備室、教育相談室                       | 945.1    |
| 管理諸室            | 職員室、校長室、事務室、会議室、放送室、保健室、生徒会室、教材・物品室、職員更衣室、昇降口            | 911.3    |
| 共用部分            | その他共用部                                                   | 3138.2   |
| 体育施設            | 更衣室・トイレ・倉庫、ステージ、アリーナ、サブアリーナ<br>武道場、プール                   | 2592.5   |
| その他             | 体育倉庫、部室、屋外トイレ                                            | 172.0    |
|                 | 合計                                                       | 11,000.0 |

敷地合計:22,867㎡(出典:天明中学校施設台帳)、内グラウンド約11,000㎡

## 普通教室・オープンスペース



グループ学習や各学級の活動に対応できる普通教室に併設したスペース【富山県魚津市立星の杜小学校】

## 少人数教室



個別学習・グループ学習等の様々な学習形態に対応できる利便性の高い教室と考える【東京都豊島区立目白小学校】

## 作業室(クラフトセンター)



子どもたちがアイディアを出し合い、子どもたちの手で増築されたテラス部分【山梨県南アルプス子どもの村小学校・中学校】

## 総合図書館



図書室とパソコン室の機能を併せ持った多様な学びに対応する総合図書館【佐賀県玄海町立玄海みらい学園】



## メモリアルスペース



閉校となる各学校を象徴するスペース 各学校で使われた資材の活用や各学校に自生する木を利用したベンチの設置、校章や校旗の展示、それぞれの校区の歴史の紹介【島根県松江市立玉湯学園】

## 交流スペース(アッセンブリスペース)



各教科の学習内容の発表会、合唱や楽器の演奏による発表会、日常生活における学年集会や、部活動等のミーティングの際の活用も想定 他、地域連携室も整備【愛知県大町立大町南小学校】

## 児童育成クラブ



校舎内に整備し、特別教室やメディアセンターの利用も想定【東京都新渡戸文化学園(VIVISTOP NITOBE)】

## 屋上に設置したプール



前期課程と後期課程共用のプールと前期課程低学年のプールの整備【京都市立向島秀蓮小中学校】

義務教育学校の開校及び施設の供用開始は、  
**令和9年(2027年)4月**を目指します。

|      | 令和4年度<br>(2022年度) | 令和5年度<br>(2023年度) | 令和6年度<br>(2024年度) | 令和7年度<br>(2025年度) | 令和8年度<br>(2026年度) | 令和9年度<br>(2027年度) | 令和10年度<br>(2028年度) |
|------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 従来方式 | 基本計画・<br>可能性調査    | 基本・実施設計           |                   | 新校舎建設工事           |                   | 解体工事②・<br>外構工事    |                    |
|      |                   |                   | 解体①               |                   |                   |                   |                    |
| DB方式 | 基本計画・<br>可能性調査    | 事業者<br>選定等        | 基本・実施設計           | 新校舎建設工事           |                   | 解体工事②・<br>外構工事    |                    |
|      |                   |                   | 解体①               |                   |                   |                   |                    |
|      |                   |                   |                   |                   |                   | 供用開始              |                    |

令和5年度(案)    5月上旬    実施方針の公表  
                          6月上旬    要求水準書(案)の公表  
                          7月中旬    入札の公告、入札説明書等の公表  
                          12月下旬    落札者の決定  
                          1月上旬    仮契約の締結

令和6年度(案)    基本設計・実施設計

令和7・8年度(案) 新校舎建設工事



▼ 現地見学を希望される際やその他の問い合わせ先

熊本市教育委員会事務局 教育総務部 学校改革推進課

☎ 096-328-2708

✉ [gakkokaikaku@city.kumamoto.lg.jp](mailto:gakkokaikaku@city.kumamoto.lg.jp)



【錢塘小学校HPより抜粋】



【奥古閑小学校HPより抜粋】



【天明中学校HPより抜粋】



【川口小学校HPより抜粋】



【中緑小学校HPより抜粋】